

(案)

令和 3 年 3 月 日

阿賀野市長 田中 清善 様

阿賀野市総合計画審議会
会長 武 田 真

答 申

令和 2 年 9 月 2 8 日付け阿財第 2 4 6 号をもって本審議会に諮問があった事項について、下記のとおり答申します。

記

1 阿賀野市総合計画及び阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

【答申内容】

阿賀野市総合計画及び阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗については、前年度との比較で「向上」している基本事業の成果指標の割合が平成 30 年度実績に対する評価結果との比較において増加しており、また、前期基本計画で設定した目標値を達成している成果指標も増加している状況にあることから、概ね順調に推移している状況と認めます。

その一方で、前期基本計画策定時における基準値を下回る状況となっている成果指標も一定数認められる状況となっていることから、P D C A サイクルに基づく経営資源の適切な配分や業務の見直しの徹底を図りながら、引き続き、まちづくりの目標である「元気で明るく活力のある魅力的なまち」の実現に向けた取組を推進していただくよう期待します。

2 地方創生関係交付金事業及び地域再生計画関係事業の進捗状況について

【答申内容】

(1) ハクチョウの湖「瓢湖」周辺魅力向上計画について

令和元年度においては、いずれの K P I も目標を下回っている状況ですが、コロナ禍の影響が認められる状況下においても、前年度を上回る実績となっており、改善に向けた取組の成果が発現している状況と認めます。

今後においては、瓢湖の持つ豊かな自然環境などの魅力をより積極的に P R するとともに、ウォーキングや体操など、健康づくりの場としての

活用方法を広く周知するなど、コロナ禍の影響によるライフスタイルや価値観の変化に柔軟に対応しながら、目標達成に向けた取組の推進が図られることを期待します。

(2) 阿賀野交流ゲートウェイ整備プロジェクトについて

令和元年度における複合施設の年間利用者数は、目標を上回っている状況であり、計画については順調に進捗している状況と認めます。

安田地区複合施設(「風とぴあ」)の地域内外からの更なる利用拡大に向けたPRを推進し、引き続き、地域の交流拠点として十分な活用が図られることを期待します。

3 阿賀野市総合計画(次期基本計画)について

【答申内容】

本審議会に付議された次期基本計画(阿賀野市総合計画2016-2024基本計画2021-2024期)の案については、基本構想に定められたまちづくりの方向性を踏まえながら、環境変化や法改正、新たな行政課題等に対応するための見直しが行われた内容となっています。

また、次期基本計画については、現基本計画(阿賀野市総合計画2016-2024基本計画2016-2020期)に引き続き、施策及び基本事業ごとに成果指標を設け、目標値を設定する行政経営(行政評価)の考え方が取り入れられており、総合計画と一体的な進捗管理を行うこととしている第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び阿賀野市国土強靱化地域計画と併せ、計画の着実な推進を図る観点からも、今後の阿賀野市におけるまちづくりの基本的な指針として、妥当なものであると認めます。

なお、当審議会として、計画の推進にあたって有効と思われる主要な意見を以下に付しますので、これらの意見に十分配慮するとともに、「元気で明るく活力のある魅力的なまち」の実現に向けて、計画の進捗管理を適切かつ継続的に実施しながら、施策・基本事業の目標達成に向けた取組の推進が図られるよう要望します。

- 医師の偏在や高齢化などにより医師の確保が大きな課題となっている現状を踏まえ、必要な時に、必要な医療を受けられる地域医療体制の確保に向けた取組を強化していただきたい。
- 突発的に発生する自然災害等に備え、防災に対する意識啓発のほか、避難路や迅速な消火活動を確保するための道路整備や治水対策など、あらゆるリスクを考慮しながら災害に備えた対策を強化していただきたい。

- 産婦人科医が不足している現状を踏まえ、安心して子どもを産むことのできる環境の整備に向けた取組を強化していただきたい。
- インターネットの普及によりソーシャルネットワーキングサービス（SNS）などの利用が増加している現状を踏まえ、行政や学校など関係機関の協力体制の構築など、トラブルや犯罪から子どもたちを守るための取組を強化していただきたい。
- 高齢者をはじめ、誰もが住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を送れるよう、認知症対策など市民の意識啓発に繋がる取組を強化していただきたい。
- 農業者の収益を向上させるためには、圃場の整備を早急に進めていく必要があることから、生産基盤の整備に向けた取組をなお一層推進していただきたい。
- 農業の担い手を確保する観点からも、学校給食における地場産農産物の使用率を上げるなど、子どもたちから地元の農業への関心を高めてもらうための取組を強化していただきたい。
- 豊かな自然環境など地域の優れた魅力を積極的に発信するなど、観光客をはじめとした交流人口・関係人口の増加に向けた取組をなお一層推進していただきたい。
- 人口減少や高齢化の進展にともない、自治会の機能の低下が懸念される状況にあるため、自治会の枠にとらわれない地域コミュニティのあり方の検討など、コミュニティの維持、活性化に向けた取組を強化していただきたい。
- 学校教育や社会教育の場における人権の啓発、推進など、一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない明るい地域社会の実現に向けた取組をなお一層推進していただきたい。
- 住民の利便性向上、行政の効率化・高度化を図る観点から、解決すべき課題を明確化し、デジタル技術やデータの活用など、行政のデジタル化に向けた取組について積極的に取り組んでいただきたい。

以 上